



## 首都圏大石田会 ふるさと大石田を懐かしむ

首都圏大石田会の総会と親睦のつどいが6月16日(日)に東京都のコードヤード・マリオネット銀座東武ホテルで開催され、参加者がふるさと大石田の話に花を咲かせました。首都圏大石田会には、首都圏に暮らす大石田町出身者など約150名の方が加入しています。今回の総会には約80名の方が訪れました。

総会に続いて行われた親睦のつどいでは、木村里美さん(下宿)が民謡を披露したほか、大石田町民謡研究会のメンバーが元祖花笠踊りや山形大黒舞などを披露しました。

当日は、参加者も一緒に踊るなど、楽しいひとときを過ごしていました。



選手の皆さんの、今後ますますのご活躍を応援しています。

氏名(学校名)	地区	競技
矢作 蒼梧 (大石田小学校 5年)	東町	水泳競技(50M自由形、50M背泳ぎ、100M背泳ぎ)
佐竹 澄海 (大石田小学校 5年)	東町	水泳競技(10歳以下100M自由形)
加藤 慶人 (山形学院高等学校 3年)	井出	陸上競技(やり投げ)
長瀬 翔和 (創学館高等学校 3年)	上ノ原	陸上競技(ハンマー投げ)
高橋 琉雅 (山形学院高等学校 2年)	来迎寺	陸上競技(男子三段跳)
渡邊 斗亜 (山形中央高等学校 3年)	鷹巣	陸上競技(200M、400M、4×100Mリレー、4×400Mリレー)
加藤 綾音 (大石田小学校 6年)	朝日町	軟式野球競技

## 7人の選手に スポーツ激励金を交付

スポーツ大会出場激励金の交付式が、7月2日(火)に役場「応接室」で行われました。

今回は、東北大会や全国大会などに出場される(された方を含む)7人の選手に庄司町長から激励金が手渡されました。庄司町長、本多教育長から激励メッセージが贈られると、選手たちは次回大会への決意を語っていました。



## 尾花沢中央ロータリークラブ 南小に寄附金を贈呈

尾花沢中央ロータリークラブ(高橋龍二会長)が6月12日(水)に大石田南小学校に10万円の寄附金を贈りました。

これは「未来を担う子供支援金」として未来を担う子どもたちの役に立ててほしいと、尾花沢市と大石田町の小中学校に対して贈られているもので、今年で8年目となります。

大石田南小学校阿部校長は、「教科書に掲載されている児童図書の購入に活用させていただきたい」と話していました。



## 山形県民謡王座最北地区大会 参加者が自慢の「のど」競い合う

山形県の民謡チャンピオンを決める山形県民謡王座の最北地区大会が7月7日(日)に虹のプラザ「なないろホール」で開催されました。

この大会が大石田町で開催されるのは2年連続で、「少年・少女の部」、「高年の部」、「一般の部」の3部門に、最北地域の民謡団体に所属する約80人が出場して、自慢ののどを競い合いました。前年の山形県民謡王座決勝出場者による唄の披露や踊り団体による演舞も行われました。出場者の民謡の披露に、客席からは盛んな拍手が送られました。

各部門の上位入賞者は12月に山形市で行われる「山形県民謡王座大会」に出場します。大石田町からは大石田町民謡研究会に所属する4名が入賞しました。



## デジタル政策参与を 田中淳一氏に委嘱

組織や業務の効率化と町民サービス向上を両輪で推進するDX(デジタル・トランスフォーメーション)の取り組みとして、DX政策の助言を行うデジタル政策参与を田中淳一氏(札幌市)に委嘱しました。

田中さんは、18歳で起業し人工知能(AI)を活用したサービスを開発する企業等の経営を経て、三重県庁で元CDO(最高デジタル責任者)としてDX政策を推進するなど、全国の地方自治体と連携してデジタルを活用しながら社会を変革する取り組みに携わっています。大石田町のDX推進について田中さんは「コンパクトな自治体だからこそ、互いに目線を合わせて、進めていきたい」と話していました。

任期は令和7年3月までとなっています。



## 犯罪のない明るい社会を目 指して

社会を明るくする運動内閣総理大臣メッセージ伝達式が7月1日(月)に役場「応接室」で行われました。社会を明るくする運動は、犯罪を犯した人の立ち直りを地域で支え、犯罪や非行のない社会を築こうというもので、毎年7月は強化月間になっています。

この日は、最初に町保護司会の高橋慎一副会長から庄司町長にメッセージの伝達が行われ、その後、町保護司会(森 昇一会長)や町更生保護女性会(佐藤玲子会長)のメンバーが地域社会の協力を呼びかけ、町内を回りました。